

創立149周年



学校だより
はえ
南風の子

中種子町立

南界小学校

令和5年2月15日(水)

『はい』!の返事で、元気よく

校長 安満 浩之

2月も半ばを過ぎ、校庭のサクラも咲きはじめ、春らしさも少し感じられるようになりました。そんなサクラを横目に見ながらいつものように朝、校内を巡視していると1年生の教室から「はい」と元気な返事が聞こえてきます。1月31日には、新1年生の体験入学と説明会を開催しましたが、令和5年度は1名の新1年生を迎えることとなります。4月からは、新1年生も加わって、ますます「はい」と元気な声が教室中に響くのかなと思うと楽しみです。

ところで、日常使っている「はい」ってどんな意味があるのでしょうか。「はい」はもともと「拝」と書くそうですが、実は「はい」にもいろいろな意味があります。



「新1年体験入学」

A 意志表示のための3つの「はい」

- ① 「そうです。そうします。(了解)」
- ② 「自分です。(名乗り)」
- ③ 「自分がそうします。させてください。(意欲)」

B 存在表示のための2つの「はい」

- ④ 「います。(存在・出席)」
- ⑤ 「ここにいます。(場所)」

返事は状況や場面に応じて、意味を考えた使い方をさせることが大切です。

また、「はい」だけで済ませないで「はい」に続く言葉まで言わせるようにしましょう。

例：「はい。これからは必ず守ります。」

このことは、大人になってからの大事な表現方法となります。例えば、「この書類確認しておいて」と頼まれたら、ただ、「はい」と答えるのではなく、「はい、すぐに確認します。」というように、やるべきことを口に出すことで、相手も「理解してくれたんだな」と思うからです。

子供に「はい」を言わせる時、まずは、こちらが「こうして欲しい」「こうあって欲しい」というしっかりとした意図をもち、子供たちに問いかけるようにしましょう。そして、子供たちの返す「はい」の中に力強さがあるか、意欲や反省がしっかり込められているか、など確認しながら対応するようにしたいものです。

学校では、様々な指導の際に、「分かりましたか？」とたずね、「はい」という返事で子供たちの理解度を確認します。ご家庭でも、しつけ等の後に、「分かった？返事は？」とたずねることがあると思います。しかし、このことは、ややもすると「はい」といえば、その場をしのげる、許される、ことにもつながりかねません。また、よく人の話も聞かず、「はい」とごまかしたり、人任せのような返事になる場合もあります。

たかが、「はい」という返事1つですが、学校でも子供たちが「はい、わかりました。」と元気よく、自信をもった返事ができるように、改めて取り組んでまいります。それぞれのご家庭でも、ぜひ、1つの課題として取り上げてください。

よろしく願いいたします。